

令和6年度（2024年度） 家庭科 年間指導計画【第1学年】

評価 方法	ア 定期考査 エ 宿題 キ 発言・発表	イ 作品 オ 家庭ノート ク 授業観察	ウ 提出物（家庭ノート・課題プリント等） カ ワークシート・振り返りシート（ポートフォリオ） ケ 製作カード
----------	---------------------------	---------------------------	--

教科横断的視点：他教科関連（教科名） 内容

月	章	時数	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	ガイダンス 家族・家庭生活	1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭分野の学習内容を理解する ○自分の成長と家族・家庭生活 ・今の自分とこれまで ・わたしの生活と家族・家庭 ・家庭を支える社会 道：家族愛 家庭生活の充実 ・中学生にとっての家族 	<p>小学校家庭科の学習を振り返るとともに、3学年の学習内容の見通しをもとうとしている。（カキ）</p> <p>自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。（アカ）</p> <p>家庭にはさまざまな活動があることと、家庭の主な機能について理解している（キカ）</p> <p>自分や家族の生活は、家庭の内外の活動によって支えられていることを理解している。（アカキ）</p> <p>家族の互いの立場や役割について理解している。（ア）</p> <p>家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。（オカ）</p>	<p>家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。（アオカ）</p> <p>現在の自分は、家庭を支える仕事について何ができるかを考えている。（オカ）</p> <p>家族関係をよりよくするために、学んだことをもとに課題を解決する力を身につけている。（オカ）</p>	<p>自分の成長は家族をはじめ、多くの人に支えられてきたことに気づき、自分が支える立場になれることを考え、実践しようとしている。（カ）</p> <p>家庭生活を支える活動とそれを支える社会の仕事やしくみの学習を通して、家庭生活と社会のつながりを考え、自分のできることから実践しようとしている。（カ）</p> <p>家族関係をよりよくするために、家族や地域の人びとと協力する必要があると気づき、協力の方法を工夫し取り組もうとしている。（カ）</p>

月	章	時数	学習内容	評価規準			
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
5	衣食住の生活	6	<p>○食事の役割と食習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割 ・健康によい食習慣 <p>体：健康な生活と病気の予防</p>	<p>生活の中で食事の役割と共食の意義について理解している。(アオ)</p> <p>健康によい食習慣と朝食の重要性について理解している。(アオ)</p> <p>食習慣だけではなく運動や休養などの生活習慣を身につけることが健康につながることを理解している。(アオ)</p>	<p>自分の食生活と結び付けて考えることができる。(オカ)</p> <p>自分の食生活と関連づけて考えることができる。(アオカ)</p> <p>自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。(オカ)</p> <p>自分の食習慣について解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを論理的に表現している。(アキカ)</p>	<p>自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。(キオカ)</p>	
		4	<p>○中学生に必要な栄養を満たす食事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の発達と必要な栄養 ・栄養素のはたらきと6つ基礎食品群 <p>体：食生活と健康</p>	<p>食事摂取基準の意味と表の見方について理解している。(ア)</p> <p>中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。(アオ)</p> <p>自分の活動と食生活に照らし合わせて、日常のエネルギーや栄養素の摂取について理解している。(カ)</p> <p>栄養素について関心をもち、種類とはたらき、水・食物繊維のはたらきを理解している。(アカ)</p> <p>食品の栄養的特質を理解し、食品成分表の見方がわかり、食品群に分類できる。(アカ)</p> <p>五大栄養素と6つの食品群について理解している。(ア)</p> <p>食品群別摂取量のめやすについて、関心をもち、考えようとしている。(カ)</p>	<p>中学生の栄養の特徴を食事摂取基準から読み取り、食事の量や栄養の偏りが成長や健康の保持に影響を与えることに気づき、自分の食生活を振り返ることができている。(オカ)</p> <p>自分が毎日、摂取している食品の過不足を確認できる。(アオ)</p>	<p>よりよい生活の実現に向けて、自分の食生活について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(キオカ)</p> <p>中学生の時期の身体的特徴について関心をもち、食生活を振り返り改善しようとしている。中学生に必要な栄養素について調べ、自分の食生活の改善に取り組もうとしている。(アカキ)</p> <p>栄養素の種類とはたらきについて、主体的に調べて学習に取り組もうとしている。(アカ)</p>	
6							
7			<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスを目で見えて判断 <p><課題と実践> 夏休みの課題 給食の献立を考え調理してみよう</p>	<p>中学校生の1日に必要な食品と概量について理解している。(アカ)</p> <p>中学校生の1日に必要な食品と概量がわかり、献立作成の方法を理解している。(アカ)</p> <p>栄養的なバランスを考え、食べる人に配慮した献立の立て方や調理方法を理解している。(アカ)</p>	<p>自分が毎日、摂取している食品の過不足を確認できる。(アオ)</p> <p>自分が毎日、摂取している食品の過不足を確認できる。(アオ)</p> <p>自分が毎日、摂取している食品の過不足を確認できる。(アオ)</p> <p>自分が毎日、摂取している食品の過不足を確認できる。(アオ)</p>	<p>自分が毎日、摂取している食品の過不足を確認できる。(アオ)</p> <p>自分が毎日、摂取している食品の過不足を確認できる。(アオ)</p> <p>自分が毎日、摂取している食品の過不足を確認できる。(アオ)</p> <p>自分が毎日、摂取している食品の過不足を確認できる。(アオ)</p>	<p>よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、振り返って改善したり、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(アカ)</p> <p>食品群別摂取量のめやすについて関心をもち、摂取量を考えることを毎日の食事でも実践しようとしている。(カ)</p>

月	章	時数	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9	衣食住の生活	14	<p>○生活を豊かにするものの製作</p> <p>・布による作品で生活を演出</p> <p>・製作の計画</p> <p>・製作の基礎・基本</p> <p>・布の種類と方向</p> <p>・ミシン針と糸</p> <p>・しるしつけ</p> <p>・布の裁断</p> <p>・手縫い（玉結び、玉止め、返し縫い、まつり縫い）</p> <p>・ミシンの名称と操作の方法</p> <p>・ボタンつけ</p> <p>・製作</p> <p>バックの製作</p>	<p>布を用いたものの製作や衣生活、住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な知識や技術を理解している。（アオ）</p> <p>製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。（アオク）</p> <p>完成までの見通しをもち、自分なりの工夫を加えた製作計画を立てることができる。</p> <p>布や用具を正しく安全に扱い、自分で工夫しながら意欲的に製作を進めることができる。（カクケ）</p>	<p>衣生活、住生活などの生活の工夫について課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造することができる。（イオケ）</p>	<p>よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。（イケ）</p> <p>製作に関心をもち、これからの製作に意欲的に取り組もうとしている。（イケ）</p> <p>製作の基礎・基本の習得に主体的に取り組み、よりよい製作を実践しようとしている。（イクケ）</p>
10				<p>製作に必要な材料や縫い方がりかいでき、用具を安全に取り扱うことが適切にできる。（カクケ）</p> <p>基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して、安全で能率よく適切に製作ができる。（カクケ）</p>		
11				<p>製作に必要な材料や縫い方がりかいでき、用具を安全に取り扱うことが適切にできる。（カクケ）</p> <p>ミシンの使い方について理解し、適切に扱うことができる。（カクケ）</p>	<p>製作に必要な材料や用具の選択、製作手順、目的にあった縫い方、用具の活用方法を理解し、布を用いたものの製作に関する知識を身につけている。（アケ）</p>	<p>布や用具を正しく安全に扱い、自分で工夫しながら製作を進めようとしている。（イクケ）</p>
12				<p>製作の手順や縫い方、必要な材料と用具の選択や安全で効果的な使い方について理解している。（アケ）</p>	<p>自分らしい工夫や改善を加え、計画にそって作品を完成させることができる。（ケ）</p>	<p>作品に完成後の目的意識をもって、意欲的に製作に取り組み、生活を工夫し創造し実践しようとしている。（イカクケ）</p>

月	章	時数	学習内容	評価規準					
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
1	衣食住の生活	7	○住まいのはたらきとこちよさ	住まいのはたらきには、機能的なはたらきと精神的なはたらきがあることを理解している (カ) 日本の伝統的な住まいは、地域の材料を使い、気候風土に合わせて、自然のよさを取り入れたりして工夫されていることを理解している。 (アカ)	自分の住まいを点検し問題点を見つけ自分で改善できることを考えている。 (オ) 家族が心地よく住むために、どんなことを工夫すればよいのか考えることができる。 (アオ)	住まい方に対する自分なりの意見を持ち、家族がこちよく暮らせるように工夫し、実践しようとしている。 (カ)			
2			・住まいのはたらき				住まいに必要な空間について知り、生活行為が分類できる。 (オ) さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを知る。 (カ)	和式と洋式の住まい方の違いをまとめることができる。 (アオ) 幼児や高齢者の家庭内の事故の防ぎ方や安全対策を考えて工夫している。 (カキ)	幼児や高齢者を含めた誰もが安全の暮らせる住まい方について工夫し、自分の家の安全対策で実践しようとしている。 (オカ)
3			○安全な住まいで安心なくらし				家庭内の事故の種類とその原因を理解し、安全を考えた住空間の整え方を身につけている。 (アカ) 室内環境を整える方法や安全に住むための対策について理解している。 (アカ)	地域で起こりうる自然災害を見据え、自分の家でできる安全対策を論理的に考え、具体的に方法を表現している。 (カ)	自分や家族が避難したことを前提に物理的、心理的な面からより穏やかに暮らせるよう最適解を求めて追求している。 (オキ)
			・家庭内事故への備え	住まいの地震対策から安全確保の方法を挙げることができる。 (キ) 災害時、身を守るための準備や行動のしかたを具体的に説明できる。 (キカ)					
			・災害への備え						
			社：大地の変化 体：自然災害による危険						
			体：自然災害による障害の防止						
			○持続可能な住生活をめざして	持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを理解している。 (アカ)		学習したことをふりかえりながら、持続可能な住生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 (カ)			